



第396号 平成23年7月1日

発行所 京都市学校医会

京都市中京区間之町通竹屋町下ル

楠町601-1 こどもみらい館 2階

TEL (075) 256-0351

FAX (075) 241-3568

発行人 奥村正治

第62回指定都市学校保健協議会

会 長 奥 村 正 治

3月11日の東日本大震災の為、協議会の開催が一時危ぶまれる空気もあったが、5月22日(日)に第62回指定都市学校保健協議会は開かれました。

本年の政令指定都市学校保健協議会は、いつもの年とはちがっていた。指定都市を順番に持ち廻っている為、13年ぶりに京都が当番であった。京三大祭りの1つ葵祭りと重ならない様に5月22日(日)を選択されたが、時間によっては大雨の降る中で集合、移動という協議会になった。午前中は京都会館第2ホールで全体協議会と記念講演が、午後は場所を道路を渡ったみやこめッセに移して課題別協議会が行なわれた。

本協議会に先立ち、前日5月21日(土)からすま京都ホテルにて医師の集まる会が開催された。例年ですと府医主催で行なわれるわけであるが、13年前には、この医のグループの会が開催されなかった事もあり、今回は府医、京都市学校医会が共催という形で行なわれた。講演会に先立ち、眼科、耳鼻咽喉科の先生方が一同に集い講演会(詳細はのちほど)がもたれ、その後、懇親会が開かれた。東日本大震災の大変な時にもかかわらず、仙台市の方からも永井幸夫仙台市医師会長はじめ、9名の先生方が御参加いただき盛大に行なわれた。御料理も前会長の肝いりで参加者の方々には京の味を味わっていただいた。又、京文化の一つでもある宮川町のきれい所さんにも会を盛り上げていただいた。あちらこちらで写真撮影もみられました。終了間ぎれですが、仙台市医師会長と懇意にしておられる京都市長もとび入

りで御参加下さり、いつもになくなごやかな会となりました。

本番の協議会についてですが、学校医会執行部の役員は当日何かの役割りを荷っており、例年のように聞く立場ではなかったので全部を御紹介出来ないが、それぞれの担当の所で、話題を提供して頂くことになりました。不十分を御許しいただきたい。

午前の記念講演は、「京の食文化—私のこだわり」と題して瓢亭の第14代高橋英一氏よりお料理が中心の話しを聞いた。京の文化は1000年の都の宮中中心の公家文化による、京呉服・京焼・京漆・京菓子・京料理の形で発展し、京料理は「京都の郷土料理」と云える。宮中からは有職料理、寺院からは精進料理、茶道からは懐石料理、町衆からはおぼんざいとして発展していった。京料理は、旬の食材を大切にしてみりはりのある季節感を目で楽しみ、味を楽しむもてなしの文化、そして料亭は日本文化の凝縮、しつらえ、空間、サービスなど、もてなしの文化は茶の心大切と話され、私のこだわりとしては、だしの問題、味付けの問題にこだわっているとも……。最後に、塩は食塩をすぐに止めて下さい。天然塩にして下さい。ミネラルも豊富ですし……。で結ばれた。

午後の分科会には、4つのグループに別かれて(健康教育、保健管理、心の健康、地域保健のグループ)各都市より発表された。京都からは、京都市立朱雀第六小学校の養護教諭の八木利津子先生と私の二題の発表となりました。第一分科会には学校医会

から担当者がなかった為、具体的な話題は今回カットせざるを得ません。申し訳ありませんでした。

来年はさいたま市で開催予定です。又、本年の様

な当番は、19年後になる様です。(政令指定都市は19都市あります。)

副会長 林 鐘 声

5月21日(土)、からすま京都ホテルで合同研修会として「人間とは何か：チンパンジー研究から見てきたこと」と題して、京都大学霊長類研究所所長の松沢哲郎氏の講演が行なわれました。

数や言語を理解するチンパンジー、アイの研究者として理解していましたが、それは一知半解というものであり、本当の研究主題はタイトルにあったようです。

講演はビデオ撮影したチンパンジーの生態、行動、認知実験を動画で提示するのが中心で、ここが違う、あそこが違う、なぜだろうと自然と多くのものが頭に入ってくるものでした。なかでも3つの動画は記憶に残るものでした。

① 人間の赤ちゃんは寝かされて育つに対して、チンパンジーの赤ちゃんは仰向けに寝かされると、しきりに手足をもがいて安定しない。本来は母にしがみついた生活なので、しがみつこうとする行動をとるためです。人間の親子は物理的に離れているため、母親と声でやりとりする。仰向けに寝ているため手が自由となる。人間を特徴づけるものは直立歩行にあるのではなく、仰向けに寝て育つことにあるとする意見でした。

② 石器使用するチンパンジーの様子を幼いチンパンジーは近寄って、しきりに観察し自発的にまねる行動をして、やがてはそれを修得していきます。大人のチンパンジーは教えもしないかわりに、いやがりもしない。ひるがえって人間では教える時には"認める"同意の行動が入る。拒否するのは、その裏返し行動であり"教える"ことのあり様を考えさせられました。

③ モニター画面に1～9までの数字がアトランダムに散在した状態で、瞬間的に数字が消えても、チンパンジーはその数字の位置を正確に覚えている。動画を通して何回か一緒にトライしましたが全く歯が立ちません。直観像記憶は人間よりもはるかに優れていることが示されました。この記憶は他者と共有できない。情報や経験を言語によって他者と共有できるようになった人間は、そのかわりにこの能力が失なわれたのではないかということでした。

他にも興味深い事例や考察にあふれた今回の講演は、今年岩波書店より出版された「想像するちからチンパンジーが教えてくれた人間の心」に準拠したものです。一読を薦めます。

福西小学校校医 奥村正治

第2分科会は

①「子どもたちをとりまく健康課題への取り組み」
～ 健康観察・フィジカルアセスメントの学びをとおして～

静岡市立安東小学校 養護教諭 白鳥 明美 先生
アセスメントシートを担任と養護教諭との連絡パイプにする事により、子どもの健康観察がより多く出来る様になり、又、子どもたちが自分の体の様子

をしっかりと伝えられる様になった。

②「学校保健委員会の活性化を目指して」

～ テーマの設定とR-PDCAシートの活用 ～

岡山市立操南中学校

養護教諭 野々上 敬子 先生

R-PDCAシートの使用により、保健委員会の参加者からのアンケートにより委員会の課題等がはっきりし、整理がうまくいった。

③「オリジナル手洗いソング」を使った手洗い活動の実践について

福岡市立高木小学校（元福岡市立東住吉中学校）

養護教諭 三浦 睦弥 先生

中学3年生保健委員会で、作詞・作曲しインフルエンザ感染予防の目的の為、昼食前5分間音楽を流しながら手洗いを行なう、どこをどう洗うかという

歌詞になっており、手洗いがうまく行く様である。1、2年生には浸透していないので、そこが課題との事であった。3年生の作詞・作曲の為か？

④「学校薬剤師による薬の正しい使い方教室」の取り組み

千葉市学校保健会 学校薬剤師部会

大野 定行 先生

実験を通して、薬の服用に茶やコーラはだめか？血中濃度の問題等行なった授業の為、中学生にも十分理解できたと思われます。

⑤政令指定都市におけるⅢ期MR混合ワクチン集団接種

～ 平成21年度、20年度を経験して ～

京都市学校医会 会長 奥村 正治

校医ニュース6月号の話題を中心に話しを進めた。

第62回指定都市学校保健協議会 第3分科会【心の健康】に参加して

常任理事 杉本英造

協議題：「心の健康づくりをめざす組織体制と支援のあり方」について。前半は養護教諭から、自他を大切にすることを育む・「生命」をキーワードにした健康教育・学校における心の健康教育に対する支援の実際と題して提言がなされました。「自尊」と「他尊」。自分を大切にすることがないところに他人を思い遣る、大切にすることは生まれません。タバコ・薬物・アルコール・感染症を通して命の大切さを啓蒙する集団指導に対し、養護教諭がキーマンとなり担任・保護者・地域と連携し、「気づき」：悩んでいる子供を察知し導く、個の指導。様々な取り組みにより、命の大切さと他人への思いやりを育む努力をしておられました。発達障害や精神疾患に対しては、早期に学校医・専門医との連携が必要です。

後半は学校薬剤師より、給食調理場の衛生、採光・照明検査、飲料水・プールの水質調査、空気環境、ダニ検査を通して健康にとってよい環境衛生を守る

ことが、子供たちの心の健康を守ることにつながるということが強調されました。

指導助言者の名古屋大学・親と子どもの心療科：岡田 俊先生より、東日本大震災現場で経験された「肉親が、友が津波に流されていく姿を目の当たりに見た」子供の「命」に対する心理状況説明には言葉がありませんでした。養護教諭への助言として、「命の大切さを啓蒙する指導」は毎日家庭内暴力を受けている子供にとって、その指導はどのように受け入れられるか考える必要があることを説明され、相手の立場を考える、「個の指導」のむずかしさを認識しました。

今回、第3分科会の運営責任者を務め、貴重な経験をさせていただきました。多くの方々への御協力により無事に果たせましたことを深謝します。

第62回指定都市学校保健協議会

第4分科会 [地域保健] 報告

専務理事 井本 雅美

協議題	学校・家庭・地域の連携で進める学校保健活動	
主旨	子どもの健康課題に適切に対応するための学校・家庭・地域の連携協力のあり方と組織的、総合的な学校保健の取組について協議する。	
協議の視点	○学校・家庭・地域との連携を活かした学校保健活動の取組 ○学校保健委員会および児童・生徒の保健委員会における家庭・地域との連携の活性化	
口頭提言題 及び提言者	No1 生徒保健環境委員会活動 ～学校保健委員会の取り組みから～	相模原市立相模台中学校 養護教諭 瀧田 三代子
	No2 健やかな心と体の育成をめざして －学校・家庭・地域社会とともに－	浜松市立雄踏小学校 養護教諭 藤井 千佳子
	No3 生徒保健委員会を活用した保健指導	広島市立五月が丘中学校 養護教諭 盆子原 由美子
	No4 地域の力を使った食育の可能性	札幌市立前田北中学校 栄養教諭 清水 祐子
	No5 一内科校医の学校保健教育への参画と提言	大阪市立南高等学校 学校医 益田 元子

この分科会では、「学校・家庭・地域の連携で進める学校保健活動」をテーマに、口頭提言と協議が行われました。

No.1 ～ No.3の提言では、地域の栄養士、医師会、隣接する小中学校、そして保護者（家庭）と連携しながら、健康教育を充実させる活動などについて発表されました。

毎年インフルエンザ流行の時期には、No.2の地域において、保育園、幼稚園、小学校、中学校のインフルエンザ罹患状況、欠席状況などを医療協議会（町内医師会主催）でとりまとめ、町内の学校医全員に報告して学級閉鎖などの対応資料としていたり、No.3の中学校においては、隣接する小学校（妹、弟が多く通っている）と学級閉鎖の情報を共有し、健康管理に役立てるなど、地域ぐるみの感染症対策が印象に残りました。

No.4の提言では、生産者の協力を得て地域の特産品を給食に使用し、地域食材を理解し誇りに思う

心を育てる食育の取り組みや、地域行政（保健センター）との共同事業として料理教室を開催し、それを通して学校給食への理解を深める活動などについて発表されました。

No.5はこの分科会では唯一学校医（高等学校）からの提言でした。5年前から性教育・性感染症に関する授業に積極的に取り組んでおられ、新1年生の夏休み前に学校医自ら性感染症の講義をされており、単なる知識としてだけでなく、予防策として実施できるものを生徒と保護者の双方に提示することが大切と話されました。保護者と生徒が一同に集まる入学式、卒業式に出席し、学校医の存在を周知させることも行っておられ、そのことにより、保護者の理解も得られやすくなるのではないかと感じました。

最後に井上文夫先生（京都教育大学教育学部体育学科教授）より指導と助言をいただき、協議会は終了しました。

南支部会開催の報告

南支部長 清水 忠雄

7月2日土曜日、新都ホテル中華料理「四川」にて奥村正治会長、長村吉朗前会長の参加を得て開催いたしました。冒頭、奥村会長より陶化、東和、山王の各小学校と陶化中学校の統合により新設校凌風小中学校が来年4月1日より設立されることが報告され、それに伴い後任学校医3名（小学校2名、中学校1名）健康管理医1名を南支部で推薦するようにと要請がありました。今後各支部でも統廃合により、こうした問題が出てくることと思います。

奥村先生の乾杯の音頭で和やかに会は進み、東日

本大震災、先日の京都西京区でのガス管の事故、ジェネリック薬品に絡むレセプト審査の問題や大文字駅伝に出場する生徒の整形外科的健診での問題点などが話題に上りました。ワインは勿論整形外科と共にこの分野のスペシャリスト山下先生にチョイスしていただき、皆美味しい料理と共に溜飲を下げ楽しいひと時を過ごしました。

南支部からは波柴忠利、小山秀樹、山本昭朗、秦敬和、山下琢先生方と私、清水忠雄が参加いたしました。

精神衛生研究班からのお知らせ

常任理事 杉本 英造

精神衛生研究班では、平成18年秋より教育委員会の協力を得て心のワンポイント相談事業を行っております。このたび教育委員会より「東日本大震災にて東北地方より京都へ移住された児童・生徒の心のケア相談」の依頼を受けました。多くの会員の方より賛同のご意見をいただき心強く感じております。さて相談事業を始めるにあたり、なにぶんにもこの分野は初めての経験ですので、事業のレベルアップおよび意思統一を計る目的で、研修会を開くことにいたしました。児童福祉センター：村松陽子先生のご推薦により、講師を同センターの 幸田有史先生にお願いしました。せっかくの機会ですので、学校医会会員の皆様にもお知らせする次第です。ご多忙中のこととは存じますが、ご参加いただきますようお願い申し上げます。なお会場の関係上、出席ご希望の方は必ず学校医会事務局へ8月4日(木)までにお知らせください。

(仮題)

「東日本大震災にて東北地方より京都に転校された児童・生徒のこころのケア」

講 師：幸田有史先生：京都市児童福祉センター

日 時：平成23年8月18日（木） 午後3時～4時30分

場 所：こどもみらい館 4階 第一研修室（中京区間之町通竹屋町下ル楠町）

連絡先：京都市学校医会事務局 TEL 075-256-0351

※8月の精神衛生研究会はお休みさせていただきます。

第2回 常任理事会

平成23年6月4日
於 事務局

出席者 奥村会長，林・竹内副会長，井本専務理事，
大久保・杉本各常任理事，佐野眼科学校医
会副会長，星谷・鈴木各耳鼻咽喉科専門医
会理事，長村監事

・会長挨拶

<報告事項>

1. 第28回京都府歯科保健文化賞表彰式 6/5
於：歯科医師会館 奥村出席
2. 精神衛生研究会 6/9
3. 京都市立学校結核対策委員会準備委員会 6/9
大久保出席
4. 三師会 6/11 於：粟田山荘
5. 京都市学校保健会理事会・評議員会 6/21
於：新都ホテル
6. 京都市学校保健会第1回企画・広報・研究・表
彰各委員会 6/21 於：新都ホテル
7. 色覚相談 6/21 2名
8. ツベルクリン反応 こどもみらい館
6/28, 6/30
9. その他

<協議事項>

1. 京都市学校保健・学校安全功労者表彰推薦につ
いて
2. 平成24年度 統合校について（小学校2名，中
学校1名）
3. 各懇談会（7/16, 7/23）出席者について
4. 全理事会（8/6）について
5. 平成23年度 京都市学校保健会健康教育シンポ
ジウム シンポジストについて 10/25
シンポジスト 林

6. 子どものワンポイント相談事業の対象を，東日
本大震災により京都市立学校へ転入してきた児
童・生徒にも拡大する件について
7. 本年度より就学時検診視力1.0未満は医療機関
へ受診する件について

<関連学会・各種協議>

1. 南支部会 7/2
2. 発達障害児（者）の受診支援を考える～思いや
りの医療サポート 7/9 於：京都府医師会館
3. 第1回給食事業安全衛生委員会 7/11
4. 腎臓相談 7/12
5. 色覚相談 7/12, 7/19
6. 第33回近畿学校保健連絡協議会 7/14
7. 精神衛生研究会 7/14
8. 第11回京都「こどもの心とからだ」教育講演会
7/16 於：こどもみらい館
9. 校園長部会との懇談会 7/16
10. 府医 第7回学校保健委員会 7/20
11. 府医 第2回学校医部会幹事会 7/21
12. 養護教育研究会との懇談会 7/23
13. 京都市小学生水泳記録会 7/28 長村出席
14. 全理事会 8/6 18:00～
於：「ラ・リサータ」（ホテルグランヴィア京都）

